

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあつては名称) 株式会社 西日本アチューマツトクリーン		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒703-8245 岡山市中区藤原50番地の1	
本票作成	部署名：営業部				
主たる業種	分類コード	88	業種名：廃棄物処理業		
事業の概要	廃棄物の収集運搬、中間処理（脱水、破碎、選別、焼却、中和、調整分離、混合調整）、最終処分。建設系汚泥の再資源化、廃棄物を原料とした固料燃料の製造。				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	E・フォレスト岡山		岡山市北区御津虎倉1886番地	
	②	本社		岡山市中区藤原50番地の1	
	③	赤磐工場		赤磐市山口2131-4	
	④	箕島事業場		岡山市南区箕島3678番	
	⑤	倉敷営業所		倉敷市東塚5丁目17-58	
特定事業者の該当要件	<input type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500k0以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 5 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	令和 5 年度 ~ 令和 9 年度 (5 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 1.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 4 年度)			目標年度 (令和 9 年度)					
	14,087 t CO ₂			44,000 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (令和 4 年度) の排出量					
	①	E・フォレスト岡山		12,319 t CO ₂					
	②	本社		791 t CO ₂					
	③	赤磐工場		503 t CO ₂					
	④	箕島事業場		474 t CO ₂					
	⑤	倉敷営業所		0 t CO ₂					
				t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 E・フォレスト岡山 焼却施設 焼却処分量	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		2.403 t CO ₂ / (t)	2.379 t CO ₂ / (t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 4 年度)	達成率(%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

令和4年10月に稼働開始した焼却施設の稼働率の向上を図るため温室効果ガスの排出量は増加するが、無駄なエネルギーの使用量削減に努め、焼却処分量当たりの温室効果ガス排出量削減に取り組む。

【目標削減率達成のための推進体制】

環境マネジメントシステム（ISO-14001）の環境組織により推進

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
E・フォレスト岡山 本社 赤磐工場 箕島事業場 倉敷営業所	<p>【職員】 ・退社時、パソコン、モニター、プリンターの電源オフ ・こまめに照明、エアコンをオンオフ</p> <p>【車両】 ・低燃料費車、低排出ガス車の導入 ・車両の点検整備 ・法定速度の遵守とアイドリングストップ</p> <p>【施設】 ・施設の点検整備 ・施設運転の効率化 ・照明施設に人感センサーの導入・LED化推進</p> <p>【E・フォレスト岡山】 ・施設内に桜を植樹 ・焼却施設の廃熱を温室で利用</p>

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
E・フォレスト岡山 本社 赤磐工場 箕島事業場 倉敷営業所	<p>【全体】 ・これまでの取り組みを継続実施</p> <p>【E・フォレスト岡山】 ・焼却施設誘引通風機のインバーター化</p>

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	有	施設内の森林の適正管理
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	有	E・フォレスト岡山の混合調整施設で産業廃棄物から助燃料を製造し、焼却施設で利用
その他	無	

【その他特記事項】